

子ども達にとって安全で友だちと会える大切な空間 (池の里クラブ・大阪府寝屋川市)

1. 廃校になった小学校の音楽室にあるクラブハウス

クラブハウスは、寝屋川市が市民交流センターとして活用する廃校した小学校内にあります。学校のグラウンドは施設利用がないときは「公園」となり、子どもから大人まで誰もが自由に使えるようになっていました。子どもを持つお母さん、お父さんは安心して遊びに出せる場所として地域に受け入れられています。

クラブハウスは誰もが利用することができるため、サッカー少年達が教室前後に気軽に遊びに来ています。その横で卓球教室を終えた方々が将棋を指して楽しんでいます。なんとも不思議な光景ではありますが、クラブハウスが地域住民の憩いの場となっていることを改めて感じました。

クラブハウスは、音楽室をそのまま利用しており、市民交流センターを使用する地域住民の窓口になっています。白く明るい壁にはクラブの活動写真が飾られ、クラブの楽しい雰囲気クラブ会員以外の方にも見ていただける工夫がされています。



手作りデコレーションによる活動写真

2. クラブハウスは自由に使える「我が家」の延長

クラブマネジャーの入江氏は「クラブハウスは、誰が何に使ってもOKなんです!!」とはじめにおっしゃっていたのが印象的でした。子ども達が学校帰りにランドセルを背負って集まり、市民交流センターを利用されている方々が休憩され、時には地域の既存団体の会議室、地域のイベントの休憩所、待機所といろいろな顔をもつクラブハウスはまさに地域コミュニティの拠点となっています。



特に子ども達にとっては、「我が家」の延長になっています。クラブハウスを集合場所として遊びに出かける子ども、宿題やゲームを思い思いにやっている子ども、スポーツ教室前に時間をつぶしている子ども、雨の日の子どもの居場所、サッカー少年達が試合の反省をしていたり、普段のクラブハウスはこのような様子です。子ども達にとってクラブハウスは、安全で友だちと会える大切な空間になっていることが伝わってきます。

クラブハウスに遊びに来る子ども達とクラブスタッフや指導者が道で会うとあいさつを交わすようになったこと、クラブハウスがあることで地域の子どもの顔が見えるようになったことを、入江氏はうれしそうに語っていらっしゃいました。

3. クラブハウスの確保と今後の課題

池の里クラブは、寝屋川市の呼びかけにより総合型クラブの設立準備活動を開始しました。寝屋川市社会教育部文化スポーツ振興課、体育指導委員、寝屋川市のスポーツインストラクターを中心に、廃校の小学校を拠点に活動できるように計画されスタートしています。市が管理する市民交流センターのため家賃の負担はなく、光熱費等は市が負担するなど、現在は恵まれた状況にあります。

今後のクラブハウス活用法としては、地域の方々がそれぞれ集るだけではなくクラブの会員はもちろん、会員外の方々が交流できる工夫をしていきたいと入江氏はおっしゃっていました。

池の里クラブのクラブハウスをみて、クラブハウスの可能性、重要性を改めて感じました。総合型クラブが地域力の再生に一役買っているということを実感し、「地域で子どもを育てる」ということを実践できている温かなクラブであると実感しました。



(祐末ひとみ 大阪府クラブ育成アドバイザー)

【池の里クラブ プロフィール】

1. 設立

設立年:平成20年2月

2. 地域

人口:寝屋川市 約24万人

3. クラブ

会員数:約200名

4. 連絡先

〒572-0036 大阪府寝屋川市池田西町24-5
TEL:072-839-7004 FAX:072-839-7005
Email: bunka@city.neyagawa.osaka.jp